

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人大阪市東成区社会福祉協議会

## I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

### 1 法人運営事業

(事業活動支出 9,154,690 円)

法人組織内一丸となって感染予防対策を講じながら、地域社会への貢献と積極的な情報公開に努め、開かれた法人運営に向け組織連携強化を図った。

(職員体制 市社協出向職員 13 人/嘱託職員 20 人/非常勤職員 34 人)

法人会議開催日	理事会	令和 5 年 5 月 23 日(火)	令和 5 年 12 月 6 日(水)	令和 6 年 3 月 26 日(火)
	評議員会	令和 5 年 6 月 12 日(月)	令和 6 年 3 月 26 日(火)	

① 会員の拡充 会費収入計 2,506,885 円

#### ② 調査・研究活動

- ・ 各事業における参加者、従事者等へのアンケート実施によるニーズ把握に努めた。
- ・ アンケート、統計調査依頼にかかる協力(回答)等を行った。

全社協、府社協、大阪市(関係局・課)、大阪市社協、その他(民間調査機関)

#### ③ 人材育成

- ・ 内部研修の充実、外部研修・会議・連絡会・講習会等への参加
- ・ 各事業管理者(包括支援・居宅介護支援・通所介護)集団指導、各連絡会等への参加・出席
- ・ 保育・社会福祉士実習生の受け入れ

#### ④ 広報活動の充実

ア 広報紙 社協だより「ひがしなり」の発行(年 2 回:10 月・1 月)

イ 情報発信 ホームページ 新着情報・注目情報 ※Facebook・X での情報発信随時

ウ 子育て支援情報紙「ふれあい子育てねっと」発行(年 6 回/奇数月発行)

エ “きづくちゃん”の区内でのふれあい・交流参加広報活動

- ・ ふれあい広場、区子連親善スポーツ大会

オ 館内ロビー掲示板、カタログ閲覧、オープン相談スペースの活用

※ 感染予防対策 バナー設置(マスク着用の呼びかけ、手指消毒等)

#### ⑤ 共同募金運動への協力 【令和 5 年度 共同募金総額 6,630,714 円】

- ・ 大阪府共同募金会と地区募金会との事務連絡調整
- ・ 募集案内の広報・周知、募金の受付、専用経理ソフトでの資金管理と年度決算報告
- ・ 募金型自動販売機の設置による売上金の一部寄付実績

R4.12 月～R5.11 月 合計 13,213 円

#### ⑥ 日本赤十字社の活動への協力

- ・ 日本赤十字社大阪府支部との事務連絡調整、資材の配布、社資募集と義援金の受付
- ・ 東成区赤十字奉仕団の事務費管理

## I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

### 2 善意銀行事業 (事業活動支出 480,210 円)

区民の皆様や団体、企業の方などからの寄付を、地域福祉向上・推進のため助成金払出しにより活用。

令和5年度寄付金及び払出実績

- ・ 預託寄付数 3件 13,000 円 / 物品寄付 1件 (アルコール消毒液)
- ・ 預託払出 3件 479,605 円
  - ・ 東成区青少年育成推進会議啓発イベント開催経費
  - ・ 北中道校下社会福祉協議会冬休み子ども喫茶開催経費
  - ・ 東成区地域福祉活動推進支援助成事業
- ・ 事務費 605 円

### 3 福祉募金事業 (事業活動支出 1,130,731 円)

募金実績による東成区地域女性団体協議会と校下社協への助成金に加え、区レベルの地域福祉活動団体の活動支援を目的とした助成に活用。

募金実績 1,276,995 円 助成額 1,124,076 円 (11校下・9団体) 事務費 6,655 円

### 4 区地域福祉活動支援事業交付金 (事業活動支出 50,034,761 円)

コロナ禍での地域福祉活動を推進するために、校下社会福祉協議会等の役員や地域福祉活動者に対して情報提供や地域福祉活動再開に向けた支援を実施。

#### ① 地域福祉活動に対する助言・指導等事業

ア 地域福祉活動の状況把握と支援や情報提供

- ・ 校下社協・地区ネットワーク委員会等の役員への運営支援、地域福祉活動者の活動支援。また、新型コロナウイルスの影響により休止や規模を縮小していた地域福祉活動の再開に関する助言指導、情報提供。
- ・ 校下社協・地区ネットワーク委員会等が、地域で実施している「見守り・声かけ活動」「ふれあい型高齢者食事サービス事業」「ふれあい喫茶活動」の状況を把握し、活動者とともに活動方法について検討し、それに伴う活動者への助言、指導を行った。

イ 地域福祉活動にかかわる役員・活動者を対象とした研修会等の開催及び支援

- ・ 校下社協、地区ネットワーク委員会の役員、活動者、ボランティアを対象とし、新型コロナウイルス感染症による制限の緩和にともなう地域福祉活動の再開に向けて話し合いを行った。また、福祉課題の解決方法について情報提供や活動者への支援を行った。
- ・ 「自分らしく、誰もが安心して東成区で暮らしていくために」と題した社会福祉講演会を、桃山学院大学名誉教授の石田易司氏をコーディネーターに、区内の障がい者支援施設職員や当時者とのシンポジウムを、129名の参加のもと令和6年2月10日(土)に開催した。

ウ 東成区地域福祉ビジョン・東成区地域福祉アクションプラン等の推進

- ・ 東成区地域保健、地域福祉ビジョンの推進、区役所との連携協定会議において、地域福祉課題の解決に向けて検討し、情報共有を行った。

## I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

### エ 地域支援システム等の検討・推進への参画

- ・ 東城区地域包括ケアシステム等における会議、障がい者自立支援協議会等へ参加し地域福祉課題を把握するとともに、地域福祉の推進について検討を行った。
- ・ 各地域において、地域ケアネットワーク連絡会を地区ネットワーク委員・民生委員、区役所、福祉や介護の専門職と開催し、地域福祉課題の状況把握、個別支援の情報共有をはかり解決に向け検討を行った。

#### 【各校下地域ケアネットワーク連絡会 開催状況】

開催回数	参加者数(延べ)	内訳(延べ)	
91回	967人	地域	369人
		区役所・専門職	319人
		区社協	279人

### オ 広報・啓発

- ・ 広報紙 社協だより「ひがしなり」 2回発行(82・83号)
- ・ 子育て支援情報紙(年6回発行)  
各地域子育てサロン活動案内、区子育てイベント案内など掲載
- ・ ホームページの更新: 37回/フェイスブックでの情報発信: 37回

## ② ボランティア活動等の支援事業

### ア ボランティア活動の支援

- ・ デイサービスや区内施設からボランティアの活動依頼があり、活動の需給調整。
- ・ 子ども・子育てプラザや区役所、子育て支援センターから一時保育のボランティア活動依頼があり、登録している個人ボランティアで活動の需給調整。
- ・ ボランティアグループのメンバー募集のチラシの作成や活動について周知協力。
- ・ 新しいボランティア活動者の登録促進、ボランティア講座の開催。

### イ 小、中学生や地域住民等を対象とした福祉教育の推進及び啓発

「障がいのある人もない人も、地域で、社会で、ともに助け合ってともに生きていく」という考え方を持つことができるきっかけとなるような福祉教育を実施。

- ・ 東小橋小学校3年生  
第1回目 視覚障がい当事者(盲導犬ユーザー)の講話、アイマスク手引き体験  
第2回目 聴覚障がい当事者と手話ボランティアの講話、手話体験  
第3回目 パラスポーツ「ボッチャ」体験
- ・ 北中道小学校5年生  
視覚障がい当事者(盲導犬ユーザー)の講話、高齢者疑似体験
- ・ 片江小学校5年生  
車いす体験、自立生活センターおおさかひがし当事者による講話
- ・ 本庄中学校2年生  
自立生活センターおおさかひがし当事者による講話、アイマスクとボッチャ体験

## I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

- 玉津中学校 1 年生

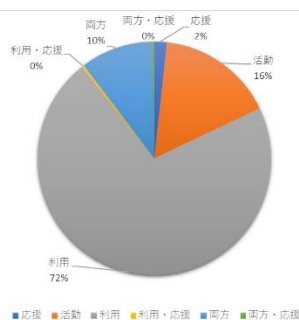
第 1 回目 視覚障がい当事者（盲導犬ユーザー）の講話

第 2 回目 アイマスク手引き体験

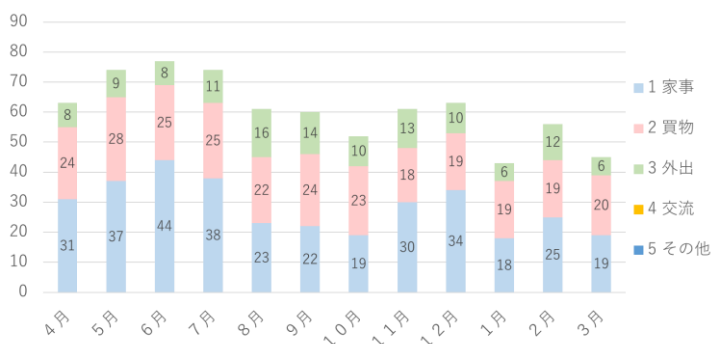
ウ きづくちゃん「たすけ愛」活動の会(会員同士の有償による助け合い活動)事務局

- 活動を通じて、暮らしの中のちょっとした困りごとの解決やつながりづくりを推進。
- 年間活動件数 729 件  
(内訳：家事 340 件買物 266 件外出 123 件交流 0 件その他 0 件)
- 会員数 290 人（男性 65 人：女性 225 人）内：新規会員登録者数 33 人  
(内訳：活動 47 人/利用 208 人/両方 30 人/応援 5 人)

令和 5 年度の会員状況



令和 5 年度の活動実績



### ③ 地域福祉推進のための連絡調整

地域福祉課題の整理及び関係機関との連絡調整、課題解決方策の検討・協議

- 区地域包括ケアシステム関連会議及び精神障がい者地域生活支援センター運営委員会等に参加し、地域福祉課題の状況把握を行い課題解決に向けて検討、協議した。
- 地域自立支援協議会への会議に参加。地域福祉課題の状況を把握し、課題解決に向け協議した。

### ④ 「区災害ボランティア活動支援センター」の設置及び総合調整等

- 「区災害ボランティア活動支援センター」設置に必要な器具・備品等購入

### ⑤ 車いす等の貸出事業

#### ア 車いす貸出事業

各校下社協の協力を得ながら、高齢者、障がい者(児)、一時的な病気やけがなどで歩行困難な方に車いすの短期貸出を実施。

年間貸出件数 153 件

貸出用車いす 介助式 自走式 子供用



## I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

### 5 共同募金配分金事業

(事業活動支出 5,488,263 円)

共同募金配分金を活用し、高齢者福祉事業等を推進することで、それぞれが孤立することなく、また、つながりづくりなどができるよう事業を実施。

#### ① 高齢者福祉事業

ア 高齢者福祉月間の推進及び金婚お祝い

- ・ 高齢者福祉月間 各地域において開催の敬老会等への支援
- ・ 金婚夫婦への祝記念品の贈呈 全校下対象計 97 組



#### ② 児童・青少年福祉事業

ア 東成区民まつりへの出展・参加



#### ③ 障がい者(児)福祉事業

ア 緊急用食料品等給付事業

- ・ 50代2人、60代2人、70代3人、90代1人の合計8人に対し、緊急時の支援を実施。  
認知症の高齢者、制度の狭間の方々に対し、3日分の缶詰やお米を提供。また、ケースワーカーとの連携、配食サービス等の情報提供、生活の立て直しに必要な支援を行った。

イ 就職面接時整容準備事業(就職面接用スーツの給付等)

- ・ 就職に向けた準備に関する相談及び給付実績…20代1人

#### ④ 福祉育成・援助事業

ア 東成福祉まつり「ふれあい広場」の開催

開催日：令和5年11月4日(土)

開催場所：コミ協ひがしなり区民センター及びセンター前広場

来場者：812人 従事者：284人

- ・ 誰もが認め合い、支え合いつながり合うことができる東成区の福祉のまちづくりをめざし、さまざまな区民が出会い交流できる場として、また福祉関係者が協働する場としていくことを目的に『みんな笑顔で 見たい 行きたい 出逢いたい』をテーマにコミ協ひがしなり区民センター及びセンター前広場・駐車場で開催。

イ 校下社会福祉協議会の活動支援

- ・ 各校下社会福祉協議会が実施する継続的な地域福祉活動や敬老会等に配分助成し、敬老会等の地域福祉活動を支援した。

ウ 民生委員協議会の活動支援

- ・ 各地区民生委員協議会が実施する児童施設友愛訪問事業等へ配分助成。

エ 社会福祉講演会の開催

開催日：令和6年2月10日(土)

開催場所：コミ協ひがしなり区民センター (6階小ホール)

来場者：129人

内容：「自分らしく、誰もが安心して東成区で暮らしていくために～コロナ禍を乗り越えて、これからのそなえを考えよう!～」

講演：石田易司氏 (桃山学院大学名誉教授)

## I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

シンポジウム：

上宮俊一氏（大阪市手をつなぐ育成会）

北岡賢治氏（自立生活センター・おおさかひがし）

西岡美緒氏、藤澤好彦氏（精神障害者地域生活支援センターすいすい）

オ 広報・啓発

- ・ 社協だより「ひがしなり」 年2回発行（10・1月）  
募金への協力、募金箱設置場所等の周知案内、募金を活用した活動の紹介
- ・ ホームページの更新作業

### 6 ボランティア活動・市民活動の推進・地域福祉推進基金事業（事業活動支出 1,324,018円）

ボランティア活動・市民活動を推進するために、東成区ボランティア・市民活動センターの運営を行い、コロナ禍でのボランティア活動やボランティアグループの活動の支援を実施。

#### ① 東成区ボランティア・市民活動センターの運営

ア 運営委員会の開催 年3回（7月、12月、3月（書面開催））

- ・ ボランティア・市民活動センターへの相談や活動状況を報告。ボランティア活動・市民活動の支援と、その推進方針について運営委員と協議

開催年月日	議 題
令和5年7月27日(木) 区在宅SC/出席7人	・ 令和5年度東成区ボランティア・市民活動センターの取り組み経過報告について ・ ボランティアコーディネーションの現状について(4～7月)
令和5年12月13日(水) 区在宅SC/出席8人	・ 令和5年度東成区ボランティア・市民活動センターの取り組み経過報告について ・ ボランティアコーディネーションの現状について(8～12月)
令和5年3月29日(金) ※書面開催	・ 令和5年度東成区ボランティア・市民活動センターの取り組み経過報告について ・ ボランティアコーディネーションの現状について(1～3月)

イ 地域福祉活動推進支援助成事業の実施

- ・ 善意銀行運営委員会、地域福祉推進基金運営委員会の開催により、払出先の審査決定  
助成経費 247,500円（19団体へ助成）

#### ② ボランティア活動への支援

- ・ ボランティア活動への支援やボランティアグループの活動支援
- ・ 活動の需給調整・相談 1,109件／依頼件数 56件／活動回数 47回  
活動に従事したボランティアグループの活動件数 19件  
活動に従事した個人ボランティアの総数 50人

新型コロナウイルスの感染拡大が緩和されてきた影響から、区内の高齢者施設や子ども支援施設からのボランティア依頼が増えた。

# I 法人運営事業及び地域福祉推進事業について

## 【ボランティア養成事業】

	開催年月日	事業名称	備考 (内容・参加人数)
1	令和5年10月26日(木) ～12月21日(木)	子育て支援ボランティア講座	全8回 参加者21人
2	令和6年2月25日(土)	ひがしなりサロン連絡会学習交流会(スキルアップ講座)	参加者17名



### ③ 広報・啓発活動

- ・ 情報発信機能を強化し、広報・啓発を実施。

	事業名称	備考 (内容・啓発先等)
1	さまざまな媒体を利用した情報発信	ボランティア通信(1回)発行 Facebook・ホームページでの情報発信 ボランティアリーフレットの作成 サロンマップの作成
2	区社協だよりへの掲載	年1回





## Ⅱ 介護保険法による事業

### 7 地域包括支援センター事業

(事業活動支出 75,159,806 円)

大成・今里・神路・深江・片江地域を圏域とする東成区南部地域包括支援センター業務を平成 28 年度より大阪市から受託している。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、総合相談（個別相談）や地域のネットワークづくりを行っている。

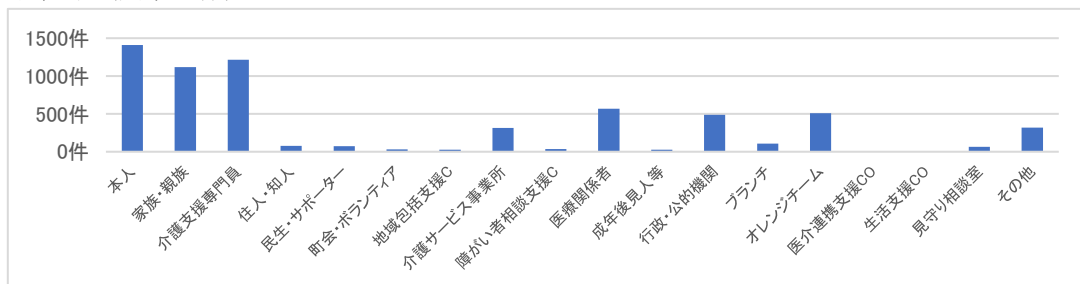
#### ① 総合相談

高齢者の総合相談を実施。高齢者の状況に応じて必要な支援につないでいる。

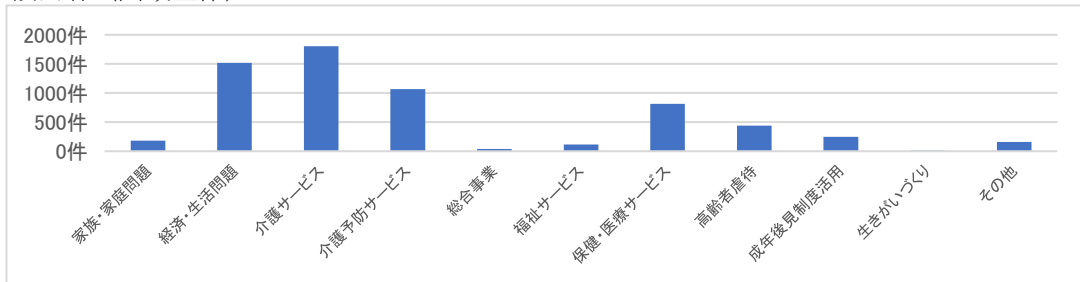
【相談件数】延べ件数 6,388 件 実人員 757 人 (要支援でケアプラン契約者は除く)

【新規相談件数】407 件 (月平均：34 件)

※相談経路 (圏域全体)



※相談内容 (圏域全体)



#### ② 虐待の早期発見・防止などの権利擁護

高齢者虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供。

【高齢者虐待】通報・相談件数 30 件 (うち虐待と判断したケース 12 件)

【成年後見申立て相談】 10 件

【権利擁護の啓発】東成区民生委員・児童委員協議会で高齢者虐待研修を実施。

包括・ブランチだより (そなエール!) にて高齢者虐待、成年後見制度、あんしんさぼーと事業、悪質商法等を掲載。

#### ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員の個別相談を受け、北部地域包括支援センターとともに居宅介護支援事業者連絡会の運営支援や介護サービス事業者連絡会等を開催し、介護支援専門員を支援。

様々な連絡会等に参加し高齢者への支援が切れ目なく提供できるよう課題を共有し活動。

(介護支援専門員への支援) 延べ 1,217 件

(居宅介護支援事業者連絡会運営支援) 執行部会 10 回、連絡会 11 回、計 21 回

(介護サービス事業者連絡会) 連絡会 4 回

(その他) 特養・老健連絡会 10 回、通所サービス連絡会 1 回、

グループホーム連絡会 11 回 等

## Ⅱ 介護保険法による事業

### ④ 介護予防ケアマネジメント

要支援者や要支援状態になるおそれのある方に対するケアマネジメントの実施と介護予防（自立支援）に関する啓発活動を実施。

#### 【要支援1・2の方へのケアプラン作成】

- ・ 月平均 590 件

	介護予防支援 年間累計	第1号介護予防支援 年間累計
包括作成	0 件	8 件
一部委託	4,633 件	2,454 件

### ⑤ 家族介護者支援

【家族介護者の会「ばらの会」の運営支援】（3回）

【映画上映会】「ぼけますから、よろしくお願いします。」

【家族介護教室】「ピラティス体験（懇談会含む）」（2回）

### ⑥ 認知症高齢者支援

【認知症サポーター養成講座（依頼）】東中本保育所、日本総合住生活㈱（4回）

【認知症サポーター養成講座（主催）】キャラバンメイト連絡会（3回）

【知って得する連続講座】「認知症になっても安心して暮らせる“備え”って？」

### ⑦ 周知・啓発活動

【東成区地域包括支援センター・ランチだより「そなエール！」】

毎月 1,000 部発行。地域、行政・公的機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会等へ配布。

毎月 400 部（班回覧：深江地域、3月より今里地域）

毎月 40 部（ポスター掲示：3月より片江地域）

【出張相談会】「そなエール！」毎月開催、場所：東成しんみちロードP A T R I

### ⑧ 地域ケア会議

高齢者が住み慣れた地域において自立した生活が続けられるよう、地域関係者や保健・医療・福祉の専門職等が継続的な支援を検討する会議を開催。

#### 【個別支援のための地域ケア会議の開催】

- ・ 36 回開催し、19 ケースについて検討。

#### 【自立支援型ケアマネジメント検討会議開催】

- ・ 検討会議 6 回開催し、9 ケースについて検討。
- ・ 小会議（研修含む）に 2 回開催。研修内容「フレイルと自立支援」「有償による住民相互の支え合い活動」等を実施。

#### 【地域課題整理のための地域ケア会議の開催】

- ・ 個別支援のための地域ケア会議等から見えてきた地域生活課題（案）を作成し開催。
- ・ 自立支援型ケアマネジメント検討会議から見えてきた地域生活課題（案）を作成し開催。
- ・ 取りまとめて見えてきた課題を区地域包括支援センター運営協議会で報告。

## II 介護保険法による事業

### 8 生活支援体制整備事業

(事業活動支出 10,527,700円)

住民の多様な参加、参画により高齢者の社会参加と地域における支え合いをすすめ、高齢者が住み慣れた地域で、自ら介護予防に取組み、元気に暮らし続けることができる社会の実現を旨とし実施。

#### ① 地域資源の把握・ネットワーク化

ア 地域の福祉活動や会議、専門職の会議等に参加し、介護予防、生活支援にかかる資源とニーズを把握

地域の福祉活動や会議等への参加	373回(第1層:167回 第2層:206回)
専門職等との会議等への参加	88回(第1層:79回 第2層:9回)

イ 第1層協議体会議の開催 1回(7月)

開催日時	内容
令和5年7月25日(火) 東成区役所 304・305 会議室	■令和4年度 生活支援体制整備事業の取組報告について ■令和4年度 生活支援体制整備事業の計画について

ウ 第2層協議体(北部圏域)の開催 1回(7月)

開催日時	内容
令和5年7月14日(金) 在宅サービスセンター 多目的室	■元気で暮らすための「そなえチェックリスト」について

エ 第2層協議体(南部圏域)の開催 2回(8月、3月)

開催日時	内容
令和5年8月18日(金) 在宅サービスセンター 多目的室	■生活支援体制整備事業について ■元気で暮らしていくためにをテーマとした広報物の作成について
令和6年3月22日(金) 在宅サービスセンター 多目的室	■地域別の広報物について

#### ② 地域資源・サービスの開発

ア 地域福祉活動サポーターと連携したつどいの場づくり、活動に参加しやすい取組みの充実

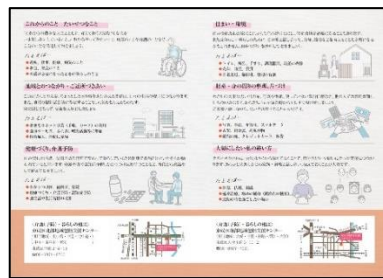
- ・ 今里地域 「cafe3・1」 活動継続支援
- ・ 片江地域 「体験スクール」再開支援
- ・ 中道地域 「ふれあい喫茶」再開支援

イ 市民活動団体やボランティア、介護事業者や、民間事業者等多様な活動主体と連携したつどいの場、生活支援につながる活動の創出

- ・ 「“そなえる”私の暮らし方」の発行

地域包括支援センターやケアマネジャー等の専門職や地域住民と話し合いを行い、高齢になっても元気に自分らしく暮らしていくことができるように、今からできる「そなえ」についてまとめたリーフレットを作成。

## II 介護保険法による事業



### ③ 活動の場の発掘・開発

ア 大学生、企業と連携した、新たな活動の場の発掘・開発に向けた取り組み

- ・ 地域におけるスマホ講座の開催

スマートフォンを持っている高齢者が、スマートフォンを活用することで友人や家族等とのつながりを絶やさず、情報の取得ができるようになることを目的に開催。

大学生が講師となりマンツーマンで個別の相談に対応。世代間交流にもなっている。

企業、大学生と連携したスマホ講座の開催について検討（令和6年度実施予定）

### ④ サービス実施情報の提供・周知

ア 介護予防と生活の質の向上につながる情報を掲載した情報紙の作成



SHAREかわらばん

- ・ 暮らしの中の工夫や、元気に暮らしていくために楽しんでいること等をまとめた「SHAREかわらばん」を発行。区内の関係機関や憩の家に配架し、情報発信。

イ 知って得する連続講座 ACP編の実施（企画：包括的支援事業連絡会）

在宅医療・介護連携推進コーディネーターと連携し、人生会議・そなえについての講座を開催。“そなえる”私の暮らし方を活用し、地域住民に対して周知・啓発。

ウ ケアマネジャーに向けた情報発信

自立支援型ケアマネジメント研修において、東成区内の社会資源について情報提供。

エ 医療・福祉専門職向け情報発信

- ・ 東成区居宅介護支援事業者連絡会及び東成区介護サービス事業者連絡会へ、毎月「地域のおたより」情報発信

オ 地域住民に向けた情報発信

- ・ おまもりネット事業の紹介動画の作成

おまもりネット事業について概要や登録についてまとめた紹介動画を作成。地域の役員会やイベント等で活用。

## II 介護保険法による事業

### 9 住民の助け合いによる生活支援活動事業

(事業活動支出 135,138 円)

「介護予防ポイント事業」の活動登録者が、要支援者等に対し、生活援助活動を行うことにより、自身の生きがいがいづくりと介護予防を推進するとともに、要支援者等の生活の質の確保及び向上を図り、地域における住民相互の助け合いの体制づくりを推進することを目的として実施する。

#### ① 活動登録の促進及び活動者への支援

ア 活動者が無理なく活動でき、自身の介護予防につながることを理解できる研修実施

- ・ 大阪市社会福祉協議会と合同で介護予防ポイント事業登録時研修（施設活動コース、在宅活動コース）を2回開催し、延べ6人名が参加。
- ・ ボランティア・市民活動センター独自で介護予防ポイント事業説明会（施設活動コース、在宅活動コース）を1回開催し、2人が参加。
- ・ 介護予防ポイント事業（在宅活動コース）登録者 累計 32 人

イ 法人広報紙、チラシ作成、地域福祉活動の場等での事業周知

- ・ 各校下ケアネットワーク連絡会
- ・ 老人福祉センター
- ・ 個人ボランティア/ボランティアグループ
- ・ きづくちゃん「たすけ愛」活動の会登録会員に郵送
- ・ 介護予防教室（マシンを使った運動教室・健康サポートプログラム）の参加者へ口頭で研修の周知

ウ 活動者同士で学び合えるよう、活動者の知識・技術・経験をシェアする場の定期的な設定

助け合い事業の利用状況の報告や会員同士の交流、つながりづくりを目的に「会員のつどい」を開催。

令和5年 5月26日(火) 9:00~12:15

令和5年 7月22日(土) 10:00~11:30

令和5年 11月24日(土) 13:30~15:00

令和6年 2月 9日(土) 参加者が定員にならなかったため中止

#### ② 利用者への支援

ア 利用対象者の居宅訪問によるアセスメント実施及び活動登録者の活動調整（6件）

イ ケアマネジャーが作成する介護予防サービス計画の確認による、他の第1号訪問事業との同月における重複利用の管理（9件）

ウ 居宅介護支援事業所連絡会参加等でのケアマネジャーに対する事業主旨の促進（1回）

## II 介護保険法による事業

### 10 介護予防教室（なにわ元気塾）事業

（事業活動支出 7,463,923 円）

#### いきいき教室

11 校下の憩の家や地域集会所で、介護予防を目的とした運動、栄養、口腔、認知症・うつ予防、フレイル予防などのプログラムを「いきいき教室」の愛称で実施。

【参加者 延べ1,558人】（前年度比+1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
地域数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
参加者	141	141	129	130	117	132	137	134	134	123	118	122	1558

#### 『マシンを使った運動教室』

マシン（運動機器）を使った運動教室の実施

3 コース（火曜・水曜・金曜）定員：各コース 10 名

場所：在宅サービスセンター 3F トレーニングルーム

第1クール(4～7月)各12回実施 参加者累計/火:104人 水:104人 金:99人 計307人

第2クール(9～11月)各12回実施 参加者累計/火:105人 水:111人 金:112人 計328人

第3クール(12～3月)各12回実施 参加者累計/火:111人 水:110人 金:110人 計331人

【参加者 延べ966人（実人数90人）】（前年比-28）



#### 『サポートプログラム』

健康維持を目的とした自分でできる運動と閉じこもり防止のプログラム

2 コース A・B（2週に1回・月曜）定員：各コース 20 名

場所：在宅サービスセンター 3F 多目的室

春クール（4～6月）5回実施 参加者累計/A：93人 B：81人 計174人

夏クール（6～8月）5回実施 参加者累計/A：88人 B：86人 計174人

秋クール（9～11月）5回実施 参加者累計/A：95人 B：92人 計187人

冬クール（12～2月）5回実施 参加者累計/A：82人 B：89人 計171人

登録40人【参加者 延べ706人】（前年比 +12）



マシンを使った運動教室



健康サポートプログラム



#### 『運動教室 ウォーミングアップ交流会 夏の暑さに負けないカラダへ！』

8/22・8/23・8/24・8/25 4日間 定員：各日 20 名

①8/22（火）「モビバン 初級エアロビ」 参加者 20 人

②8/23（水）「おたのしみ エアロビ」 参加者 19 人

③8/24（木）「ミニらいとモルック体験」 参加者 19 人

④8/25（金）「椅子ヨガ 脳活体操」 参加者 19 人



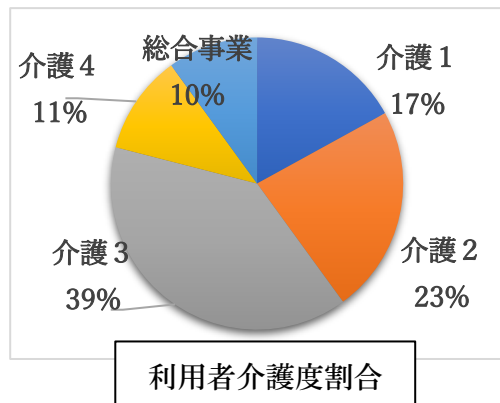
## II 介護保険法による事業

### 11 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護事業 (事業活動支出 15,633,831円)

要介護1から要介護5の認定を受けた方への介護サービスと要支援1・2の方への介護予防サービス(送迎・入浴・食事・レクリエーション等)を行う。

- ・ サービス提供時間(基本) 平日午前9時30分～午後3時30分(送迎を除く)
- ・ 高齢者の閉じこもり防止、ふれあいの場の提供、家族の介護負担軽減等の役割を担う。
- ・ 利用者や家族の要望に応えるサービスとなるよう、実施内容の充実に向け検討を行う。  
運営推進会議の開催2回(10・3月)/スタッフ会議の実施12回(日常の申送りを除く)
- ・ 地域のボランティアグループやサークル活動者との交流レクリエーション
- ・ 手作りおやつなどのクッキングレクリエーション※感染予防対策の強化により実施減少

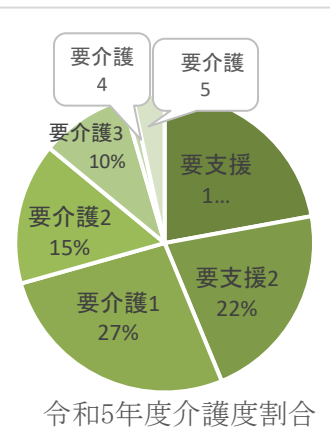
- 開設稼働日数 251日
- 利用人数 延べ1,136人  
内訳 地域密着型通所介護 1,024人  
総合事業 112人
- 研修実施  
フロアスタッフミーティング等を活用して内部研修を実施し、情報共有や(資料の閲覧等含む)意見交換を行った。
- レクリエーション  
季節の壁画づくりやクリスマス会などの行事や近隣公園等への外出を含め、好評だった。



### 12 居宅介護支援事業 (事業活動支出 8,317,457円)

介護に関する相談に応じ、利用者の生活の質の向上や家族の介護負担の軽減に努める。介護保険サービスやその他のサービス利用に必要なケアプランを作成し、利用者と家族を支援。

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	16	18	18	11	5	1	2	71
5月	16	18	18	10	5	1	2	70
6月	17	18	17	11	4	1	2	70
7月	19	17	17	11	5	1	2	72
8月	14	13	17	11	6	1	2	64
9月	18	17	16	10	6	1	2	70
10月	16	16	19	10	8	1	2	72
11月	15	16	21	10	8	0	3	73
12月	15	13	21	11	9	0	3	72
R6/1月	15	12	21	11	9	0	3	71
2月	13	12	21	12	7	1	3	69
3月	12	12	20	11	8	1	3	67
合計	186	182	226	129	80	9	29	841



- ◎ 東成区居宅介護支援事業者連絡会 毎月1回(年11回)
- ◎ 自立支援型ケアマネジメント検討会議参加(本会議・小会議)5回
- ◎ 「みんなで考えようACP」演参加
- ◎ 視聴研修(集団指導・人権・社協等)
- ◎ 施設見学(通常規模通所介護施設1事業所)

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### 13 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 (事業活動支出 16,524,992円)

機能①では、要援護者への日々の見守り活動や災害における避難支援等を目的に、要援護者名簿作成と地域への提供を行い、見守り活動につなげるために学習会を開催した。

機能②では、同意確認の中から支援につながっていない人や、孤立死のリスクが高い人等をアウトリーチにより支援につなげている。

また、認知症等による行方不明者が年々増加しているなか、機能③において、早期発見のためのメール登録推進と、地域で安心した暮らしや変化に気づき互いに支えあるまちづくりをめざして、住民や専門職と共に声かけ訓練を開催した。

#### ① 地域の見守り活動への支援(要援護者名簿にかかる名簿の整備)(機能①)

令和5年度：郵送及び訪問による同意確認

##### 【郵送による同意確認】

発送数	同意	不同意
617	415	42

対象者に一斉に発送。

発送前には地域ケアネットワーク連絡会等での地域活動者への周知や、介護保険事業者への説明を実施。

##### 【訪問による同意確認】

総訪問数	同意	不同意
817	141	64

複数回訪問しても回答が得られない、

区で確認しても不明な場合、民生委員の協力を得て訪問を実施。

##### 【令和5年度までの回答者累積数】

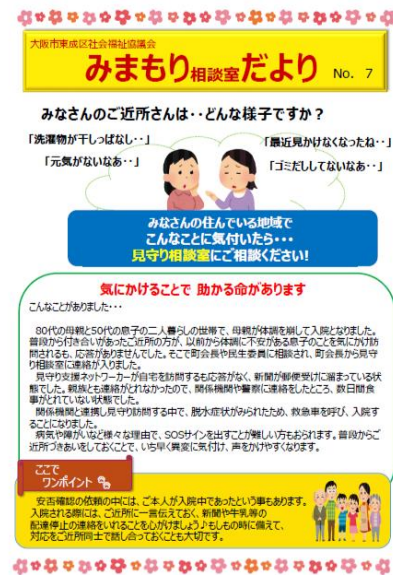
累積対象者	同意者数	不同意者数	未回答者数
9,323人	5,727人	1,612人	1,984人

##### 【各地区民生委員へ提供した名簿対象者数】

東小橋	139	大成	272	今里	234	中道	134
北中道	365	中本	312	東中本	595	神路	472
深江	415	片江	491	宝栄	326	計	3,755

同意者の他、発送対象ではない軽度(要支援1・2/要介護1・2)の方についても名簿を整備し、区役所と連携し各地区民生委員に提供した。

また、見守り訪問のきっかけとして活用していただくため、みまもり相談室だよりを提供した。





### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

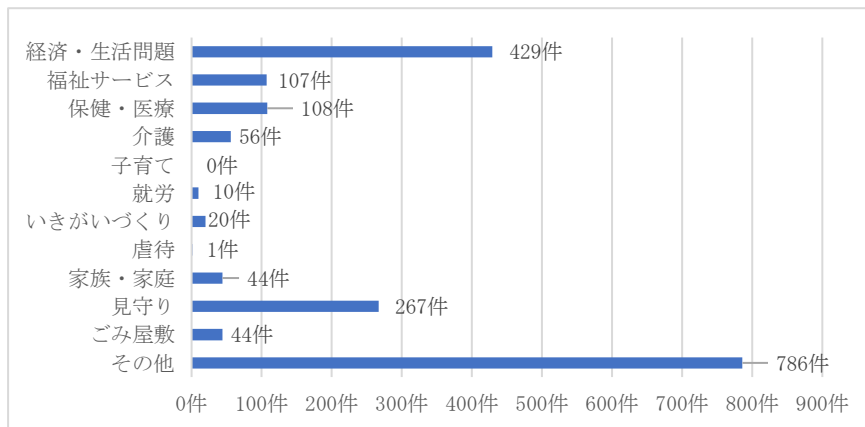
#### ② 孤立世帯等への専門的対応(機能②)相談実人員 430 人(男性 175 人/女性 247 人/不明 8 人)

- ・ 地域や社会のつながりから孤立している方や制度の狭間に陥るような課題をもっている方への対応を行った。
- ・ 地域住民、関係機関、専門職の情報から支援が必要な方を把握し、連携しながらアプローチを行った。
- ・ ライフライン事業者からの通報により区役所と連携し、世帯状況の把握と現場での安否確認を実施した。
- ・ 名簿整備の際に知り得た情報から、複合的な課題のある世帯へ粘り強く積極的な働きかけを実施した。

#### 【相談延べ件数】

訪問	電話	来所	その他	合計
650	454	26	174	1,304

#### 【相談内訳】

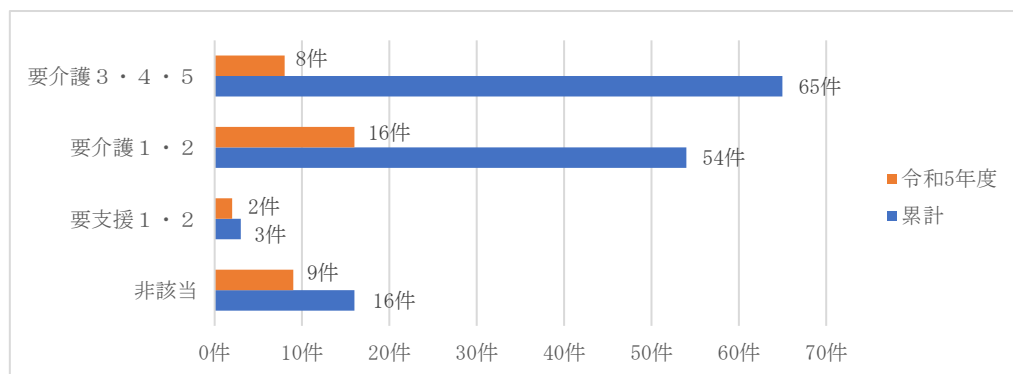


※その他については、認知症高齢者等に関する相談、警察に保護されたことによる相談内容等

#### 【ライフライン事業者からの通報対応】

新聞販売店より 3 件通報あり。新聞が 1 週間～数週間分溜まっているとのことで、職員が急行し、レスキュー隊等を要請。2 件については自宅で亡くなられており、1 件については本人が入院していることが確認でき事業者へ報告をおこなった。

#### ③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見(機能③)



見守りメール登録者 138 人 (男性 49 人・女性 89 人) 令和 5 年度新規登録者 35 人

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

【見守りメール配信結果】 (3件)

区内発見	0件	市内発見	2件	府外発見	0件	未発見	1件
------	----	------	----	------	----	-----	----

【警察から情報提供】

今年度、情報提供のあった事案76件について、保護までの経緯や介護サービス利用状況等確認し、必要に応じて、見守りメールやおまもりネット事業の登録・介護サービスへつないだほか、地域包括支援センター、オレンジチーム、地域福祉活動サポーター、民生委員と連携を取り情報共有を図った。

【見守り声かけ訓練の開催】

繰り返し訓練することが必要との声から見守り声かけ訓練を実施した。ひとりの時でも声掛けができるように声掛けマニュアルを作成する必要性がある他、訓練の効果的な実施方法について検討しながら、今後も継続的な開催をめざす。

【協力者連絡会】

「地域における見守りネットワーク強化事業協力者連絡会」を開催。改めて事業の説明及び当事業で携わった事例についての紹介、また、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりをめざした意見交換の機会となった。

#### 14 おまもりネット事業を活用した高齢者・障がい者等支援ネットワーク強化事業

(事業活動支出 22,180,317円)

ネットワーク強化事業は、おまもりネット事業を活用し、高齢者・障がい者等が地域とつながりを保ちながら、安心して暮らしてつづけられるようにすることを目的とした事業。

区民の新たなボランティア活動に参加するしくみづくりの推進。

##### ① おまもりネット事業の推進

ア おまもりネット事業の推進による「ひがしなり WELL-LINE」  
との協働

- ・ 相談件数 年間 447 件
- ・ 新規登録人数 354 人 (内障がい者 5 人)
- ・ 今年度末の総利用者数 5,949 人 (内障がい者 118 人)
- ・ 東成区役所1階のふれ愛パンジー、区内の銀行等において「おまもりネット事業説明・申込会」を開催。
- ・ 障がい者版の広報・周知については、社協だよりなどの広報紙への掲載をはじめ、関係機関や地域集会所等にチラシを設置し啓発に取り組む。
- ・ 登録内容の更新強化月間を設け各校下地域集会所などにおいて、更新受付実施。



##### ② 地域福祉活動の推進

ア ふれあい型高齢者食事サービス事業の推進

- ・ ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、食事サービスを行い、ボランティアによる見守り活動やつながりづくりを推進
- ・ お弁当と一緒に季節のお手紙を配布するなどコロナ禍であってもつながり、楽しみとなるように工夫をして実施している。

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### 【高齢者食事サービス事業の開催状況】

月	開催回数	参加者(人)	ボランティア(人)
4月	22	862	115
5月	25	930	125
6月	28	1,091	152
7月	22	850	109
8月	14	578	68
9月	21	828	109
10月	19	779	96
11月	24	892	113
12月	16	621	79
1月	16	662	149
2月	21	828	106
3月	22	826	108
計	250	9,747	1,329



・ 9地域で実施回数 250回・参加者 延べ9,747人・活動者 延べ1,329人  
 イ ふれあい喫茶・サロン活動の推進

- ・ 地域におけるつながりの希薄化という課題の解決を目的に住民がお茶を飲み交流を深め、つながりづくりができる場として喫茶・サロン活動を支援
- ・ サロンの開催にあたり、感染症対策について助言指導

#### 【ふれあい喫茶・サロン活動状況】

月	開催回数	参加者(人)	ボランティア(人)
4月	22	464	73
5月	22	472	61
6月	25	534	78
7月	22	429	52
8月	16	300	47
9月	23	523	53
10月	23	437	67
11月	22	442	59
12月	21	513	82
1月	15	324	99
2月	23	488	63
3月	23	479	61
計	257	5,405	795



・ 10地域で実施 257回 ・ 参加者 延べ5,405人 ・ 活動者 延べ795人

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### ウ 子育て支援活動の推進

- ・ コロナ禍で再開が遅れていた子育て支援活動についても区内 11 地域で実施され、合計 112 回の活動で延べ 1,333 名の参加と、延べ 477 名のボランティアの参加があった。

#### エ 見守り・声かけ活動の推進

- ・ 各校下で実施しているさまざまな見守り声かけにかかわる活動について、活動者を支援し、福祉課題の解決へつなぐ

相談件数…延 267 件



月	件数	月	件数
4 月	17	10 月	37
5 月	12	11 月	37
6 月	19	12 月	29
7 月	21	1 月	24
8 月	19	2 月	21
9 月	16	3 月	15

- ・ 地域福祉活動サポーターによる見守り活動

各校下の支援課題に合わせて「見守り・声かけ活動」を推進。各校下の取り組み状況に応じて、地域住民が主体となって課題や支援方法を考えられるように助言・指導

コロナ禍による外出自粛期間の長期化にともない、電話による安否確認を中心に行い、気になる方については訪問するなどの見守り活動を行う。

見守り件数…延 4,366 件

月	件数	月	件数
4 月	295	10 月	446
5 月	345	11 月	575
6 月	378	12 月	460
7 月	284	1 月	324
8 月	349	2 月	477
9 月	224	3 月	209

オ 前記ア～エについて、それぞれの活動が、つながりづくりや見守り活動として有効に機能するよう連絡会を開催

- ・ 各校下において開催された地域ケアネットワーク連絡会開催

東小橋	大成	今里	中道	北中道	中本	東中本	神路	深江	片江	宝栄	合計
5	6	6	6	7	12	11	11	5	12	10	91

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

- ・ ケアネットワーク連絡会において地域活動者と専門職が共有・検討した個別事例数

東小橋	大成	今里	中道	北中道	中本	東中本	神路	深江	片江	宝栄	合計
23	7	5	7	6	43	31	35	13	28	44	242

地域の活動から気づき、見つけられた困りごとや、支援を必要とする課題などがしっかりと検討され、地域の見守り活動や専門職の支援として継続的につながっている。

- ・ 地域福祉活動サポーター連絡会の実施 12回

#### ③ 要援護者への個別支援のためのコーディネート業務

地域福祉活動サポーターによるコーディネート（事例紹介）

おまもりネット登録促進のため、地域集会所や憩の家以外の発信場所として地域医療を推進している病院を訪問し、おまもりネット事業の目的を理解してもらうことで出張相談会を実施。普段地域の講座や行事には参加していない住民の登録機会となるとともに病院関係者にも周知ができたことで、地域福祉活動サポーターとの連携強化が図られた。

地域役員に対してもおまもりネット出張相談会の経緯を報告し、協力体制の構築にもつながった。

#### ④ 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業との連携

見守り相談室が行う要援護者の見守りネットワーク強化事業との連携

- ・ 地域ケアネットワーク連絡会を活用し、見守りに同意された方の情報を活動者と共有
- ・ 要援護者名簿を活用し、地域福祉活動サポーター、町会長、民生委員、女性部長、など地域役員による個別見守り訪問の実施

### 15 生活福祉資金等貸付事務事業

（事業活動支出 7,147,746円）

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行うことにより、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方に向けた緊急小口資金、総合支援資金のコロナ特例貸付の申請受付は終了しているものの、引き続き生活も含めた償還の相談、猶予申請・免除等の受付を行った。償還猶予が決定した世帯においてはフォローアップ支援が現在も継続している。

#### ① 貸付相談実績（新型コロナウイルスの影響を踏まえた特例貸付けを除く）

- ・ 総合支援資金 33件（内訳：電話25件、来所8件）申請受理0件
- ・ 緊急小口資金 330件（内訳：電話253件、来所77件）申請受理14件
- ・ 教育支援資金 233件（内訳：電話177件、来所56件）申請受理9件
- ・ 生活福祉資金 352件（内訳：電話281件、来所71）申請受理21件

内訳合計（電話：736件、来所212件） 貸付合計額 7,900,000円

#### ② コロナ特例貸付相談実績（世帯への貸付）令和4年9月30日で受付終了

貸付相談内容	電話相談	窓口相談	申請受理	
償還猶予（4月～）	444件	178件	103件	
フォローアップ支援（4月～）	133件		37件 免除	25件 償還可能

※6カ月間のフォローアップ支援のため電話相談には支援中も含まれている。

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### 16 東成区老人福祉センター

(事業活動支出 18,374,306 円)

コロナ禍ではあったが、高齢者の生きがいつくりや社会参加を支援する地域の拠点施設として、区役所や老人クラブ等と連携し、利用者・区民の方々とも協働し事業を行った。

【延利用人数】 29,113 人 前年度比 6,673 人増

【利用登録者数】 594 人 ※ 新規利用者 108 人

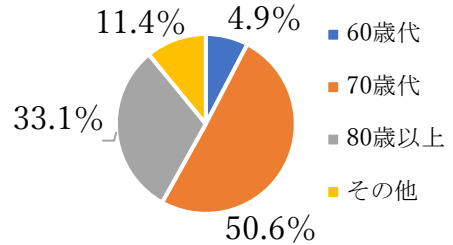
【定例・特別事業】 延 317 回 4,949 人が参加

【各種相談】 延 2,959 人

【サークル・同好会の活動】 34 サークル

延べ 1,555 回 18,878 人が参加

年代別利用者割合



#### ① 高齢者の元気づくり 区拠点としての施設づくり

##### ア 自主サークル活動の育成と支援・参加促進

事業名	開催回数	参加人数
アロマストレッチ講座	1回	16
阿波踊り体験	1回	21
作品展 (図書館)	2回	7
老人福祉センター玄関ギャラリー (常設)	12回	56

##### イ 生きがい探求のきっかけとなる講座等の開催

事業名	開催回数	参加人数
いちよう学園	3回	72
スマートフォン講座 ①②③	3回	70
歌ごえサロン東成	6回	192

##### ウ 高齢者と家族・地域関係者に役立つ「暮らし福祉講座」

事業名	開催回数	参加人数
高齢者の交通安全、特殊詐欺等防犯のお話	91回	1,278
失敗しない相続の講座と相談会	2回	48
消防訓練・消防のお話	10回	192

##### エ 利用者等との合同での事業企画・行事实施と交流・生きがいつくりの支援

事業名	開催回数	参加人数
文化祭 (演芸大会、作品展、お茶席)	1回	1,170
区長杯 グラウンドゴルフ大会	1回	57

##### オ 高齢者福祉月間行事

事業名	開催回数	参加人数
大阪市高齢者福祉大会への参加	1回	22

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

カ 健康づくり・介護予防促進

事業名	開催回数	参加人数
いきいき百歳体操普及講座・おさらい会	4回	96
食と栄養 クッキング教室	1回	25
健康寿命を延ばそう講座（ヤクルト・雪印）	3回	82

#### ② 福祉のまちづくり応援 あったか施設づくり【生きがい発信拠点施設づくり含む】

ア 自主的な地域活動・ボランティア活動参加の支援＋広報活動他

事業名	開催回数	参加人数
ふれあい広場	1回	5

イ 世代間交流の促進

事業名	開催回数	参加人数
さつまいも掘り・贈呈	1回	28
コキア収穫・贈呈	1回	28



#### ③ 生きがい活動モデルの発信 拠点施設づくり

ア 広報活動

- ・ 「老人福祉センターだより」の定期発行（年12回毎月1,500部と季刊号年4回発行）

イ 老人クラブ・憩の家の活動支援と協働

- ・ いちよう学園、歩こう会、グラウンドゴルフ大会

ウ 相談支援・情報提供・企画発信力の充実

- ・ 「いきいきシニア活動マップ2024」の発行
- ・ 情報紙「すこやか2023」の発行・配布
- ・ 東成だより・区社協等関係広報紙・ホームページでの周知
- ・ サークル活動の作品展示の場を確保（図書館、館内）
- ・ 「高齢者の生きがいと健康づくり総合推進会議」事務局（事業の企画と運営）



情報紙すこやか



いきいきシニア活動マップ



老人福祉センターだより

### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### 17 東成区子ども・子育てプラザ ※子育て活動支援事業 (事業活動支出 33,920,944 円)

東成区子ども・子育てプラザを拠点として、乳幼児と保護者、小中学生・高校生が安心して遊べる機会と場所を提供するとともに、講座・イベントの開催、相談支援、地域の自主的な活動への支援を通じて、各家庭での子育て、地域の子育て支援活動を支援した。

【延べ年間利用人数 22,537 人 (6,052 人増) / 延べ相談件数 115 件 (15 件減)】

##### ① 子育て活動支援事業

次代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育てを行っている家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供した。

##### ア 子育て情報の収集、管理、提供

- 『東成区子ども・子育てプラザ通信』の発行。【総発行部数 4,704 部 (1,356 部減)】
- ホームページを管理、更新し、プラザ情報及び区内の子育て情報を発信した。

【延べ年間 view 回数 21,145 回】

- 区内及び近隣区の子育て情報等を収集し、館内の情報コーナー等を使って提供した。

##### イ 地域の自主的な子育て活動への支援

- 地域の子育て支援者や団体に対し、出前講座による遊び・環境設定等の助言や、遊具の貸し出しを行い、活動の継続、充実を支援した。【実施回数 27 回 (4 回減)】
- 「子育て支援ボランティア養成講座兼提供会員養成講座」を開催した (城東区共催)。

【全 8 回 / 受講者数 24 人 (8 人増) / 修了者 17 人 (7 人増)】

##### ウ 子育て中の親子への支援

- 妊産期から切れ目のない支援を図るよう、ステージに応じた講座等を行った。  
【講座等実施回数 259 回 (12 回増) / 延べ参加人数 6,022 人 (2,091 人増)】
- 「プレママ・プレパパ講座」を実施した。【実施回数 16 回 / 参加組数 105 組 (20 組増)】
- 「ひよこルーム」を毎週開所した。【延べ参加人数 1,797 人 (987 人増)】



ひよこルーム



ハロウィンのつどい



プレママ・プレパパ講座

##### エ 児童の健全育成事業

小中学生・高校生が自由に遊べる場所として「子どもの家」を毎日開所した。

また、児童が自ら学び・考え・主体的に判断できるイベント・行事の実施や、ボランティア体験の機会を提供した。【延べ参加人数 2,091 人 (598 人増)】



アイロンビーズ工作



ボランティア体験

##### オ 地域関連事業

世代間交流事業として「ふくわらいコンテスト」等の実施や、地域との交流事業として「にこにこ広場」等へ協力を行った。【実施回数 9 回 / 延べ参加人数 247 人 (18 人増)】



### Ⅲ 市・区・市社協からの事業受託による事業

#### カ 区独自事業及び区・関係機関との連携

- ・ 保育所等への入所の備えのため、利用者支援事業と連携し、相談会、準備講座の実施や「すくすく・つながるフェア」に協力した。【実施回数6回／延べ参加人数115人】
- ・ 区や関係機関と連携し、区域の大型イベント「すくすく・つながる運動会」「安全安心ミニフェスタ」「ふれあい広場」等に協力し、実施した。
- ・ 幼少期から絵本になじむ機会を提供することを目的として、図書館等との連携により「おいでよ！絵本のひろばへ～絵本でつながれ！子育てを楽しく～」を開催した。  
【延べ参加人数157人（106人増）】
- ・ 区内の子育て支援団体と協働する機会として、「プラザフェスタ」を開催した。  
【延べ参加人数507人（302人増）】



すくすく・つながる運動会



おいでよ！絵本のひろばへ



プラザフェスタ

#### ② ファミリー・サポート・センター事業

子どもの預かり・幼稚園や保育所等への送迎等、臨時的・突発的な保育ニーズに応えるために、子育ての援助を行いたい人（提供会員）と援助を受けたい人（依頼会員）とを組織化し、会員同士による子育ての相互援助活動を実施するための調整業務等を行った。

【登録会員数146人（29人増）／活動実施件数610件（303件増）】

- ア 提供会員の増員を目的とした「子育て支援ボランティア養成講座兼提供会員養成講座」を開催した（城東区共催）。【全8回／受講者数24人（8人増）／修了者17人（7人増）】
- イ 会員同士の交流と会員のスキルアップを目的とした交流会・研修会を開催した。  
【交流会等実施回数4回（2回増）／延べ参加人数225人】
- ウ 会員同士の横のつながりづくり、活動へのモチベーションアップを目的に、提供会員・両方会員で構成する「もみじのて」の継続支援を行った。【実施回数11回】

#### ③ 地域子育て支援拠点事業

乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で交流を促す機会として、安心して遊べる安全な場所（つどいの広場）を提供した。【延べ参加人数11,454人（2,247人増）】

- ア 子育て支援講習の実施。【実施回数26回（11回増）／延べ参加人数769人（600人増）】



つどいの広場



お誕生会



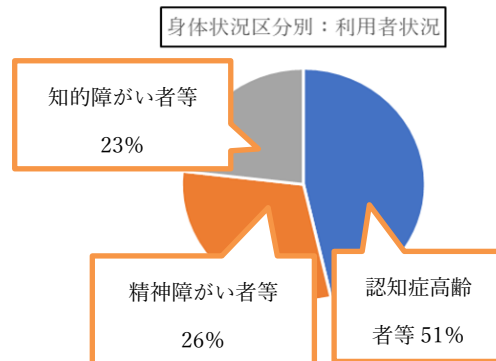
ブックスタート

- イ 支援が必要と思われるケースについては、子育て支援室等と連携し、情報交換、意見交換を行いながら適切な見守りや支援を行った。【相談件数115件（15件減）】
- ウ ブックスタート事業の実施【実施回数14回（11回減）／延べ参加人数179人（10人増）】

18 日常生活自立支援事業（あんしんさぼーと事業）

（事業活動支出 1,087,299 円）

在宅や社会福祉施設で生活している認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、本人との契約に基づき福祉サービスなどの利用援助、日常的な金銭管理を行った。



ア 利用者状況

認知症高齢者／43人 知的障がい者／19人 精神障がい者／22人 合計 84人

イ 相談援助件数累計

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
電話・来所(延べ回数)	930	565	796	3	2,294
訪問(延べ回数)	1,046	323	449	0	1,818
合計	1,976	888	1,245	3	4,112

ウ 契約締結及び終了件数累計

対象者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	不明・その他	合計
契約締結	18	5	4	0	27
終了	7	1	1	0	9

エ あんしんさぼーと相談員の受講研修等

相談員研修 2回 / 相談員連絡会 4回 / 相談員スキルアップ連絡会 4回  
 生活支援員現任研修 2回 / 成年後見制度利用促進研修 1回  
 専門員実践力強化研修（初任者研修） 1回